



WG5 - 11

## FMCサービスと番号について(案)

2005年10月25日

KDDI株式会社



## F M Cサービスの移動体、固定それぞれの回線の組合せ

移動体	携帯電話080/090	PHS070	公衆無線LAN 050
固定			
0AB-J固定電話			
050固定電話			

上記の表の ~ について、使用される可能性のある番号 (090/080、070、050、060等)それぞれについて、適合性を検討する。

## F M C で利用する番号の検討スコープ

---

それぞれの番号について検討すべき課題を以下に示す。

1. 「IP時代における電気通信番号の在り方に関する研究会」の第一次報告書で示された番号に求められる役割について整合性の検討を行う。

- (1) サービスの識別
- (2) 地理的識別
- (3) 料金の識別
- (4) 通話品質の識別

## 2. その他の課題

### (1) 固定回線発信時の発番号について

F M C の固定回線から発信する場合の発番号の扱いについて整理が必要。例えば携帯電話と050IP電話の固定回線を併用している場合、ユーザ利便性や網間インターフェイスを考慮して、発番号は050と090のどちらとすべきか、発番号のルールと技術方式について検討する。

### (2) 携帯電話番号ポータビリティ (MNP) との相互関係

2006年度に導入が予定されているMNPによって携帯事業者を変えても080 / 090番号を持ちまわることが可能となるが、F M C においてもポータビリティが問題なく提供できるよう検討すべき。

## サービス対象ユーザ

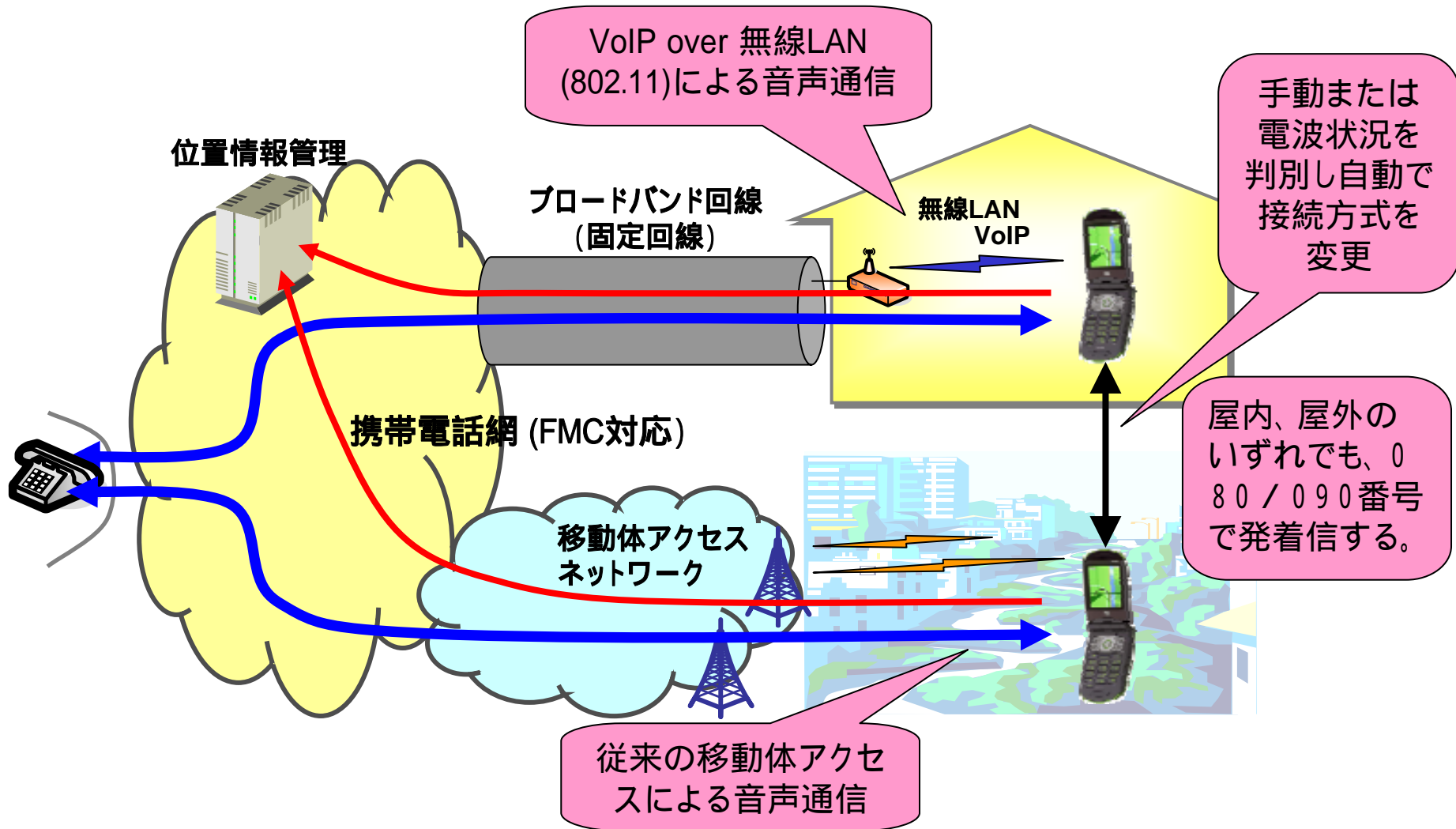
- 携帯電話サービスとブロードバンドアクセスサービス(固定回線)の双方を利用するユーザを想定。

## サービスの概要

- 1つの携帯電話端末を利用し、屋内で使う場合は無線LAN経由の固定回線で、屋外で使う場合は従来の携帯電話網で発着信する電話サービス。

## ユーザの利便性に配慮

- 合計9千万加入に迫る携帯電話の利用者をベースにFMCサービスを構築することから、利用中の携帯電話番号をFMC番号としてそのまま利用可能とするのが最も自然。(新しい番号を付与すると友人知人に周知するなどの手間がかかる。)
- 携帯電話サービスで提供している各種サービスについても、可能な限り固定回線経由で利用可能とする。



上記は現時点での案であり、今後の検討により変更の可能性もあります。